

令和6年10月1日
道路局企画課

「第6回 自動物流道路に関する検討会」の開催について

～「危機」を「転機」とする自動物流道路～

国土交通省道路局は、トラックドライバーに対する時間外労働の上限規制の適用や、担い手不足などの物流危機への対応、温室効果ガス削減に向けて、新たな物流形態として、道路空間を活用した「自動物流道路」の構築に向けた検討を進めるため、「自動物流道路に関する検討会」を設置しています。

今後の進め方及び関係者へのヒアリング、マーケットサウンディングの実施について議論するため、第6回検討会を以下のとおり開催いたします。

10月31日に社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会において、高規格道路ネットワークのあり方に関する中間とりまとめがとりまとめられました。

中間とりまとめでは、物流危機への対応や温室効果ガス削減に向けて、新たな物流形態として、道路空間をフル活用した「自動物流道路」の構築に向けた検討を進める必要があるとされております。

こうした状況を踏まえ、令和6年2月に有識者などで構成する「自動物流道路に関する検討会」を設置し、令和6年7月に『自動物流道路のあり方 中間とりまとめ』を行い、技術的な課題への対応、ビジネスモデルの構築など引き続き検討を進めていくこととなりました。

1. 日時：令和6年10月3日（木）10:00～12:00

2. 場所：中央合同庁舎3号館1階道路局A会議室（WEB会議併用）

3. 議題：（1）今後の進め方について

（2）事業者へのヒアリング

（3）マーケットサウンディングの実施について

4. 委員 別紙参照

5. 傍聴・取材等

○本会議の傍聴は、WEB（Microsoft Teams）上でのみ、また冒頭挨拶までとさせていただきます。

○報道関係者のみ、冒頭挨拶まで会場で傍聴・カメラ撮り可能です。以降はご退出いただきます。

○通信設備等の都合により、傍聴人数に限りがあるため、各社1名に限定させていただきます。

なお、傍聴人数が上限に達した場合は先着順とします。

○会議終了後、以下のとおり、事務局より記者ブリーフィングを行います。

日時：令和6年10月3日（木）12:30開始（予定）

場所：中央合同庁舎3号館5階 会見室

○会議の傍聴やカメラ撮り、記者ブリーフィングへの参加を希望する場合は、

10月2日（水）12:00までに、以下の申し込みフォームよりお申し込みください。

（申し込みフォーム URL）<https://forms.office.com/r/xLzwxQ4A1C>

※取得した個人情報適切に管理し、会議に必要な連絡以外の用途に利用いたしません。

6. その他

○会議資料・議事要旨については、会議後、国土交通省ホームページにて公開します。
後日、下記 URL より参照ください。

https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/buturyu_douro/index.html

＜問い合わせ先＞

道路局企画課道路経済調査室 企画専門官 遠藤、係長 村松

代表：03-5253-8111（内線 37-622、37-623） 直通：03-5253-8487

自動物流道路に関する検討会 委員名簿

(50音順、敬称略)

◎委員長

【委員】

あわじ たけひこ
淡路 武彦

一般社団法人日本経済団体連合会ロジスティクス委員会
企画部会委員

おばた じゅんこ
小幡 純子

日本大学大学院法務研究科 教授

かとう ひろたか
加藤 弘貴

公益財団法人流通経済研究所 専務理事

たかおか みか
高岡 美佳

立教大学経営学部 教授

はとう えいじ
◎羽藤 英二

東京大学大学院工学系研究科 教授

ひょうどう てつろう
兵藤 哲朗

東京海洋大学海洋科学技術研究科 教授

ほうじょう まさる
北條 英

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事

すぎい じゅんいち
杉井 淳一

中日本高速道路株式会社 経営企画本部 経営企画部長

みすい ゆうき
味水 佑毅

流通経済大学流通情報学部 教授

わかばやし ようすけ
若林 陽介

公益社団法人全日本トラック協会 理事長

【オブザーバー】

国土交通省 物流・自動車局 物流政策課

国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課

日本貨物鉄道株式会社

日本物流システム機器協会